

10/3_{wed}-11/4_{sun}

岩崎祐司 パロディ木彫：笑刻

「笑刻」とは的を射た造語だ。「皆様の笑顔が何よりの励みでございます」と述べる岩崎祐司氏は、「パロディ木彫」を楽しむ日本でただ一人の「笑刻家」である。自転車業を営む合間を見つけ、独学で木彫りを始めた岩崎氏は、言葉をもじる達人でもある。《初めに言葉ありき》ということだが、創作の秘密などはないと聞く。あるとすれば、面白がって実行するということなのであろう。

▼「サイは投げられた」



▲「月と・・・」

彫刻の材料はクスノキである。これを数本まとめて買ってくる。チェーンソーや鋸で程よく切ってデッサンを写し取る。その後は、ノミと木槌で笑いを彫り出すのみという。その代表作が「リョーマの休日」であり、「サイは投げられた」である。



岩崎祐司

1946 静岡県焼津市生まれ
1981 趣味の仏像彫刻を独学で開始
1994 「木のパロディ彫刻シリーズ」開始
1998 松坂屋静岡店にて初個展・企画展開催
1999 第6回「公募展 木彫フォークアートおおよ」にて銅賞以降、全国各地で個展・企画展を開く一方、日本テレビ「ズームイン!! サタデー」を皮切りに民放TVにも数多く出演し、しばしば新聞紙上にも登場する。出版物に岩崎祐司作品集 Vol.1～Vol.5がある他、中学美術副読本『美術資料』（秀学社）にも掲載される。自宅の敷地に開設された「ギャラリーくすくす」（日曜定休・入場無料）では、常時110点の作品を見ることができる。
〒425-0042 静岡県焼津市石津港町 32-29
TEL・FAX 054-624-7854
E-mail iwazaki-parodi@ka.tcn.ne.jp

11/10_{sat}-12/20_{thu}

高木亮 「切り絵」と笑い



「きりえや」高木亮。この文句で知られる高木氏は、その卓越した「わざ」を通して、人間模様を切り取っている。同氏が究めた「わざ」は、

単なる技術の領域を超えた精神性を宿している。動植物を通じて環境としての人を透視し、その生活空間の光と影を童画風に演出しているのである。

特製のポストカード、カレンダー、ブックカバーには、ことわざや映画・小説の題名をひねった短句がユーモラスな絵とともに登場する。カルタを例にとると、ことわざを元句にした「えにかいたポチ」「ねこにかばん」、小説のタイトルをもじった「つみとばく」などがある。これらの文言は、巧みな切り絵と相まって、ことわざ・笑い・カルタという展覧会の特徴を見事に集約している。



撮影：岩本竜典

高木亮

きりえ画家。作家。
1971年香川県生まれ。神奈川県川崎市在住。
大学在学中独学にてきりえ制作を開始。のち「きりえや」を名乗る。ポストカードやカレンダー等グッズ制作、個展や各種メディアを通じて作品を発表。きりえの技術を元にして生み出される「かわいくて、おかしくて、ちょっとだけ寂しい」その世界が注目を集めている。雑誌「新潮45」誌上にて扉絵と「切り絵パロディ・新世界文学名作選」連載中。著書「きりえ画文集・ユメとバルーン」（ビーナイス）、「はじめてでも簡単・たのしい切り絵レッスン」（家の光協会）。
E-mail kirieya@yahoo.co.jp
http://kirieya.com/

明治大学中央図書館ギャラリー

■会 期 10/3 [水] - 11/4 [日]
■休 館 日 10/30 [火], 11/1 [木]
■開館時間 月 - 金 8:30 - 22:00 土 8:30 - 19:00
日祝 10:00 - 17:00 【入場無料】

■会 期 11/10 [土] - 12/20 [木]
■休 館 日 11/30 [金]
■開館時間 月 - 金 8:30 - 22:00 土 8:30 - 19:00
日祝 10:00 - 17:00 【入場無料】